

道の駅「くちくまの」



道の駅全体マップ



～道の駅「くちくまの」周辺の見どころ～

① 浄覚山報恩寺

浄覚山報恩寺（通称、善光寺）は、もと知法寺とって、創立は室町前期と言われています。戦国時代に一度焼失しましたが、後に竜口山知法寺として再建されました。

② 田中神社

田中神社は、熊野古道中辺路の八上王子（現八上神社）と稲葉根王子の中程辺りの名前通りに田の中にある神社です。

社叢は全体を藤で覆われており、この藤は、南方熊楠の命名により「オカフジ」と呼ばれています。

また、「大賀ハス」も有名で、社叢の隣の池で七月から八月にかけて、うす紅色の花を咲かせます。

③ 白浜化石漣痕

白浜棧橋を北に向かい、円月島の臨海まで行く途中に、江津良海水浴場があります。この砂浜の東側に坂田の方へ続く磯場があり、岩の表面に化石漣痕が見られます。

約1,500万年前の地層とされ、国の天然記念物に指定されています。紀南には、ここ以外に赤滑の漣痕を始め、多数の漣痕が見られます。

④ 熊野三所神社

白良浜の西端の森の中にあり、円月島から本覚寺を経て白良浜方面に向かう散策コースの右側に鳥居が見えます。社叢は県指定の天然記念物に指定されています。

⑤ 火雨塚古墳

熊野三所神社の境内にある火雨塚（ひさめづか）古墳は、横穴式石室を持つ直径8m、高さ2mの円墳です。玄室内に遺物組み合わせ石棺を造ることは紀南地方では極めて稀で、6世紀後半のものと考えられています。和歌山県指定文化財です。

⑥ 虚子の句碑(崎の湯)

温泉のとはにあふれて春尽きず

高浜 虚子

昭和8年、熊野巡遊の際に詠まれた句で、外湯・崎の湯の北、白良浜を見渡すことのできる海辺にあります。

南紀白浜には、その風情や風景に魅せられた歌人たちの歌や句が刻まれた歌碑・句碑が多く建てられています。

⑦ 万畳敷

誰が名づけたか、その名も万畳敷です。千畳敷と三段壁の中間地点にあり、釣り人くらいしか知らない場所です。

水平線に太平洋が一望でき、椿温泉も遠くに眺めることができます。ぜひ一度、足を運んで見てください。

千畳敷から三段壁までの海岸沿いの道は、一部遊歩道になっており、海を眺めながら歩けます。